令和８年９月 30 日（水）
胎内市地域公共交通協議会
参考資料

胎内市公共交通に関するアンケート調査結果（抜粋）

1 アンケート調査概要

送付数: 1,000 人
送付対象者：無作為抽出した 16 歳以上市民 1,000 人
※性別および地区別構成を住民基本台帳の人口分布に準拠させる一方、年代別については回収率の偏りと将来世代の意見反映を考慮し、人口比率に基づいた抽出に特定の傾斜配分を加えた
調査期間：令和 8 年6月 5 日～6月 29 日
回収数: 479 件
回収率: 約 47.9%

【地区別抽出と回答率】

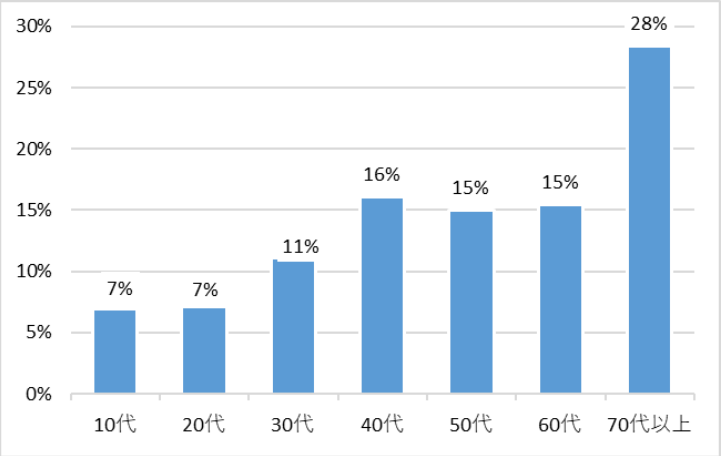
地区名	送付数（設計）	回答数（実績）	回答率
中条地区	525 人	254 人	48.4%
乙地区	157 人	74 人	47.1%
築地地区	158 人	75 人	47.5%
黒川地区	160 人	75 人	46.9%
未回答	-	1 人	-
合計	1,000 人	479 人	47.9%

【年代別抽出と回答率】

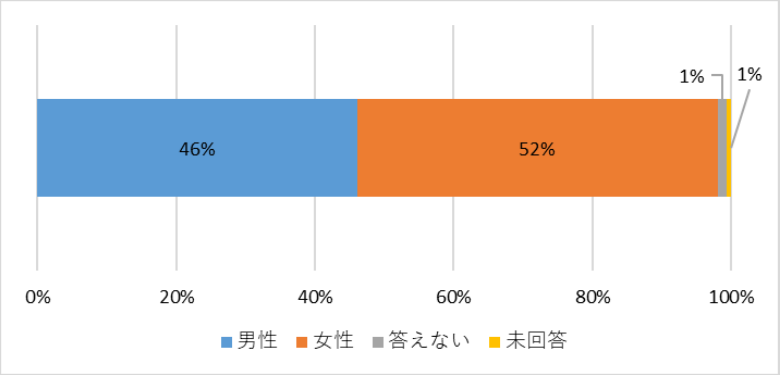
年代	送付数（設計）	回答数（実績）	回答率
10 代（16～19 歳）	103 人	33 人	32.0%
20 代	138 人	34 人	24.6%
30 代	129 人	57 人	44.2%
40 代	145 人	83 人	57.2%
50 代	140 人	74 人	52.9%
60 代	120 人	75 人	62.5%
70 代以上	225 人	123 人	54.7%
合計	1,000 人	479 人	47.9%

２ 回答者の属性

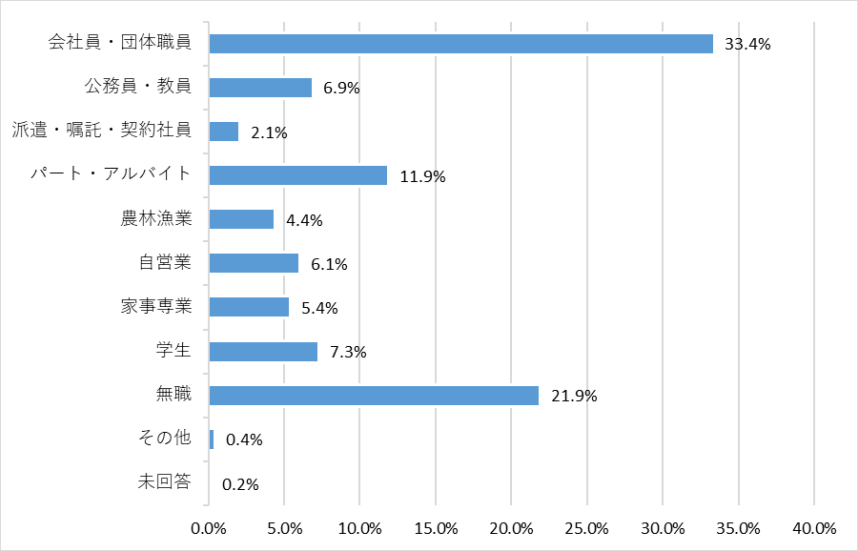
問1 あなたの年代を教えてください。



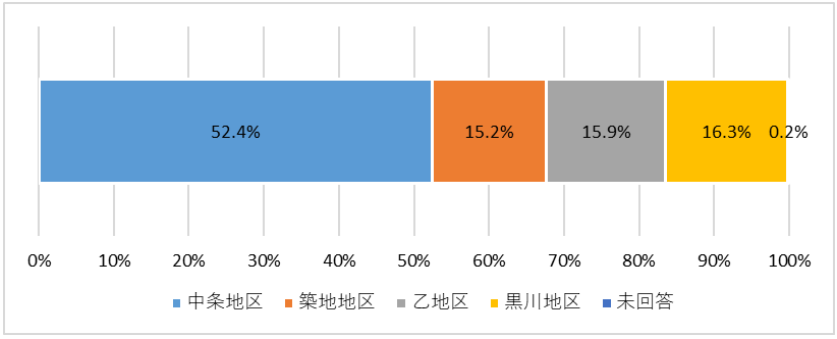
問2 あなたの性別を教えてください。



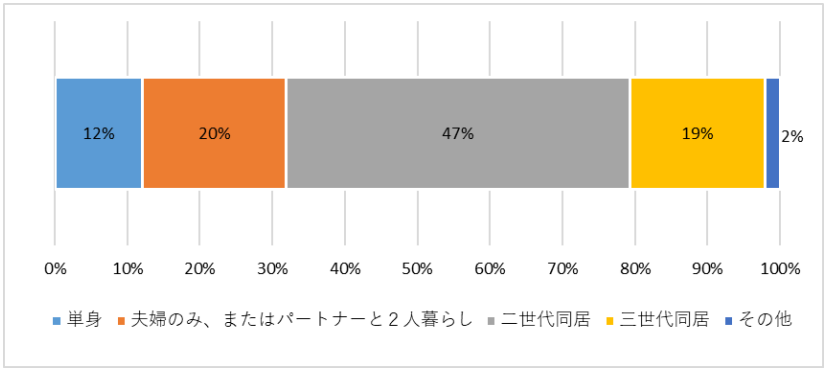
問3 あなたの主なご職業を教えてください。



問4 あなたのお住まいの地区を教えてください。



問5 現在のお住まいの家族構成を教えてください。



３ 日常の移動について

問6. 日常の外出について

外出の目的	平日(1) n=479	平日(2) n=429	休日 n=460
通勤	55.7%	5.4%	3.0%
通学	6.9%	1.6%	0.2%
通院	6.5%	18.2%	0.9%
買い物	22.1%	47.3%	47.8%
娯楽･レジャー･部活･習い事･趣味	3.3%	16.1%	35.4%
福祉施設	2.7%	0.9%	0.9%
その他	1.9%	2.1%	3.3%
出かけない	0.8%	8.4%	8.5%

主な目的地	平日(1) n=469	平日(2) n=385	休日 n=412
胎内市内	63%	60%	26%
中条地区	79%	95%	89%
乙地区	7%	2%	2%
築地地区	3%	1%	0%
黒川地区	11%	3%	9%
胎内市外n=173	37%	40%	74%
新発田市	38%	45%	43%
村上市	32%	18%	14%
新潟市	18%	16%	33%
その他	12%	5%	10%

外出の頻度	平日(1) n=479	平日(2) n=383	休日 n=416
【平日】週に5日 【休日】休日のほとんど	57%	16%	41%
【平日】週に3日から4日 【休日】週に1回程度	20%	21%	32%
【平日】週に1日から2日 【休日】月に数回程度	14%	36%	25%
【平日】月に数回程度 【休日】その他(　　)	6%	22%	2%
【平日】その他(　　)	3%	6%	-

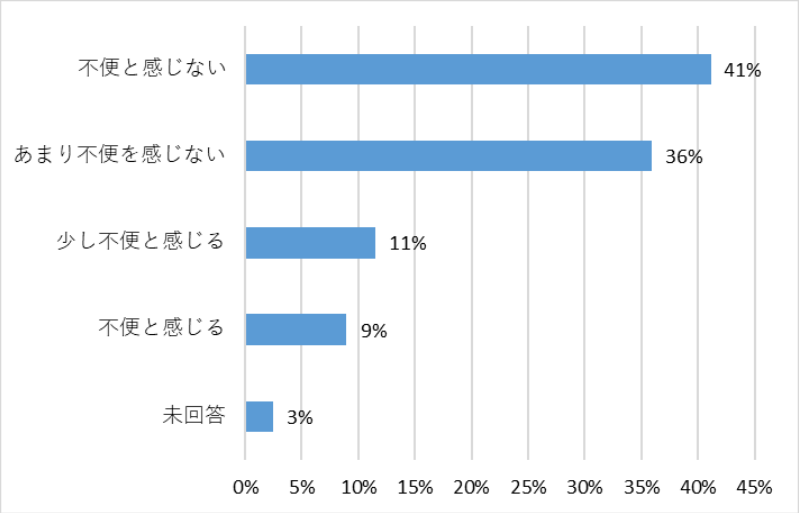
出発の時間	平日(1) n=473	平日(2) n=386	休日 n=419
午前9時前	60.9%	18%	15%
午前9時～正午	20.3%	30%	42%
正午～午後4時	8.5%	15%	16%
午後4時～午後6時	1.7%	12%	2%
午後6時以降	0.4%	10%	1%
特定の時間帯なし	8.5%	14%	23%

帰りの時間	平日(1) n=473	平日(2) n=387	休日 n=419
午前9時前	1.3%	1%	1%
午前9時～正午	12.9%	15%	11%
正午～午後4時	16.9%	22%	25%
午後4時～午後6時	29.4%	19%	25%
午後6時以降	27.9%	25%	11%
特定の時間帯なし	11.6%	17%	27%

交通移動手段	平日(1) n=473	平日(2) n=385	休日 n=417
徒歩	4%	3%	2%
自転車	3%	3%	2%
バイク	0%	1%	0%
自動車(自らが運転)	79%	80%	82%
自動車(送迎)	6%	8%	9%
電車	5%	4%	4%
送迎バス等	1%		0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」	1%	1%	0%

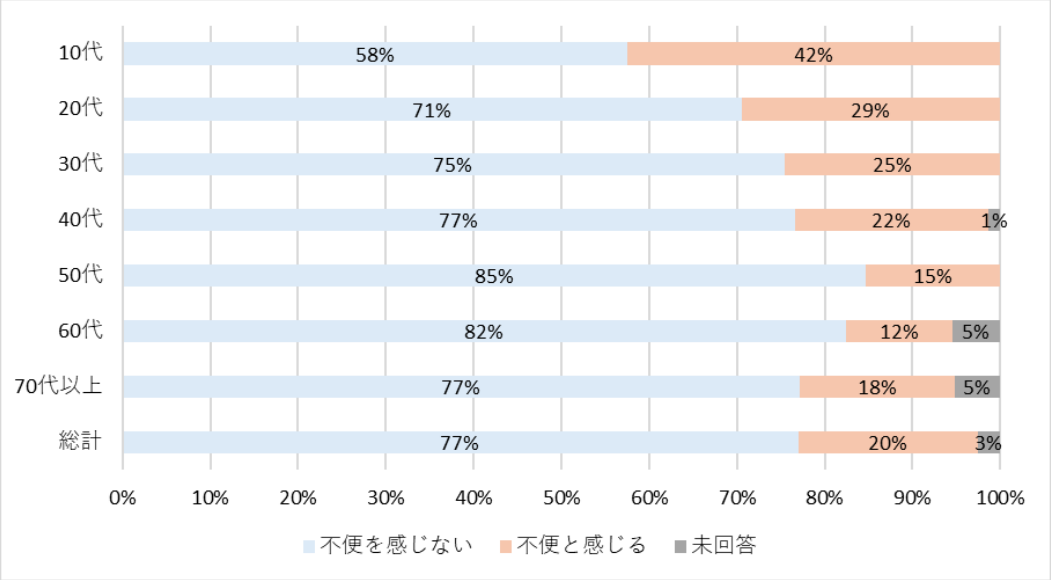
◎平日は通勤、買い物、通院、通学、休日は買い物と娯楽レジャー等が主な目的となっている。
◎平日は 6 割以上が胎内市内で移動しており、その内平日(1)は約 80%、平日(2)は 95%が中条地区で移動している。
◎休日になると、74%が胎内市外に移動し、内 43%が新発田市、33%が新潟市に移動している。
◎移動手段については、約 8 割以上が「自動車(自らが運転)」により移動している。中条地区に通勤先や商業施設、医療機関が集中しおり、現在の地域公共交通では居住地から効率よく移動することが難しいため、車での移動が主となっている。

問 7. あなたは現在の外出に不便を感じていますか。



◎「不便と感じない」と「あまり不便と感じない」を合わせると、77%が不便を感じていない結果であった。

◎年代別の不便度（問7×問 1）



・不便に感じているかを年代別で見ると、10 代が最も高く、次いで 20 代が高い。これは、運転免許を保有しておらず、電車や送迎など自由度の少ない移動手段を取らざるを得ないからと考える。

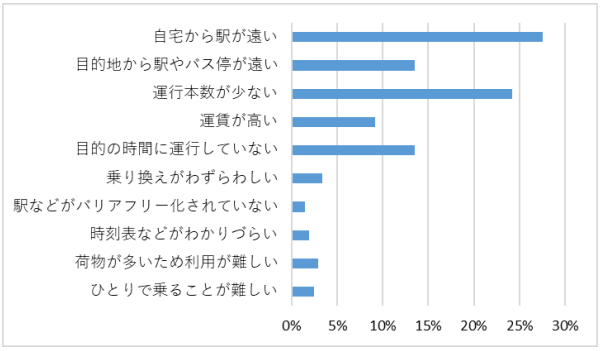
◎移動手段別の不便度（問7×問6）

	徒歩	自転車	バイク	自動車	自動車（送迎）	送迎バス等	電車	のれんす号
不便と感じる(A)	4.4%	4.8%	1.2%	62.7%	13.5%	0.8%	11.1%	1.6%
不便と感じない(B)	2.7%	2.2%	0.4%	85.4%	6.0%	0.4%	2.6%	0.3%
(A)-(B)	1.7%	2.6%	0.8%	-22.7%	7.5%	0.4%	8.5%	1.3%

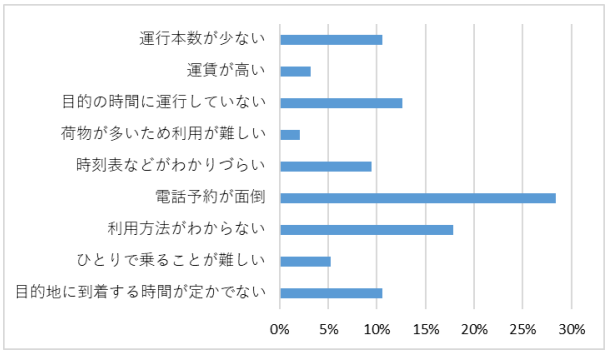
・自ら車を運転して移動できる人は不便を感じにくく、電車やバスなどのダイヤ・路線に頼らざるを得ない人や他者の送迎に頼る人ほど、移動の自由度や時間的拘束から「不便である」と感じている。
・移動や生活に不便を感じていない層では、約８割以上が「自動車（自ら運転）」を利用している。マイカーを自由に運転できることが、移動の不便さを感じさせない大きな要因になっていることが分かる。
・「不便と感じる」と「不便に感じない」と回答した割合から、自動車運転の割合が 22.7%減少しているのに対し、電車は 8.5%、送迎は 7.5%増加しており、自由度の少ない移動手段ほど不便に感じていることが分かる。

問 8. 日常の外出を不便に感じる理由は何ですか。

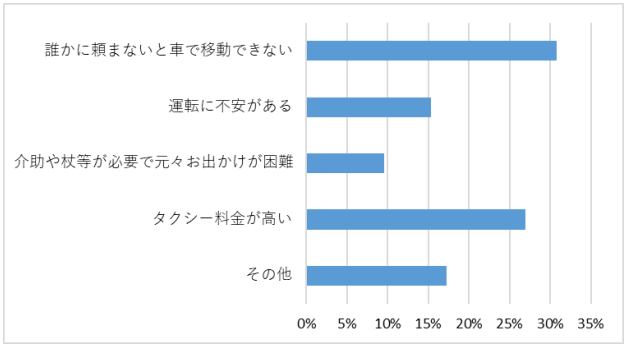
【鉄道関係】



【のれんす号】



【その他】



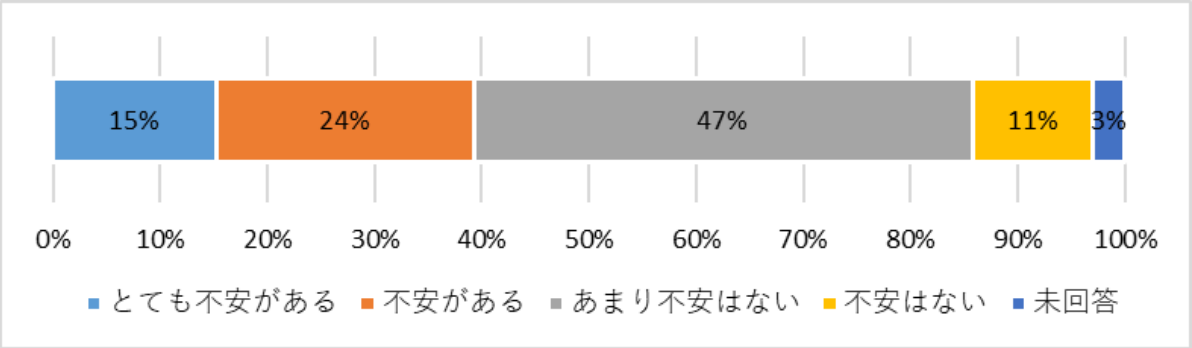
◎地区別に見た日常の外出を不便に感じる理由（問8×問4）

外出を不便に感じる理由	中条地区 n＝151	乙地区 n＝52	築地地区 n＝99	黒川地区 n＝47
鉄道関係[自宅から駅が遠い]	10%	23%	17%	28%
鉄道関係[目的地から駅やバス停が遠い]	4%	12%	8%	15%
鉄道関係[運行本数が少ない]	17%	12%	14%	11%
鉄道関係[運賃が高い]	6%	2%	8%	2%
鉄道関係[目的の時間に運行していない]	8%	8%	7%	11%
鉄道関係[乗り換えがわずらわしい]	2%	2%	2%	2%
鉄道関係[駅などがバリアフリー化されていない]	1%	0%	1%	0%
鉄道関係[時刻表などがわかりづらい]	1%	2%	1%	0%
鉄道関係[荷物が多いため利用が難しい]	2%	2%	2%	0%
鉄道関係[ひとりで乗ることが難しい]	1%	4%	1%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[運行本数が少ない]	2%	2%	5%	2%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[運賃が高い]	1%	2%	1%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[目的の時間に運行していない]	4%	2%	3%	4%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[荷物が多いため利用が難しい]	1%	0%	1%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[時刻表などがわかりづらい]	3%	2%	2%	2%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[電話予約が面倒]	8%	6%	7%	9%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[利用方法がわからない]	9%	2%	2%	2%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[ひとりで乗ることが難しい]	1%	4%	2%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[目的地に到着する時間が定かでない]	4%	0%	3%	2%
その他[誰かに頼まないと車で移動できない]	5%	6%	4%	2%
その他[運転に不安がある]	3%	2%	1%	4%
その他[介助や杖等が必要で元々お出かけが困難]	1%	2%	1%	0%
その他[タクシー料金が高い]	5%	2%	4%	2%
その他[その他]	3%	4%	2%	2%

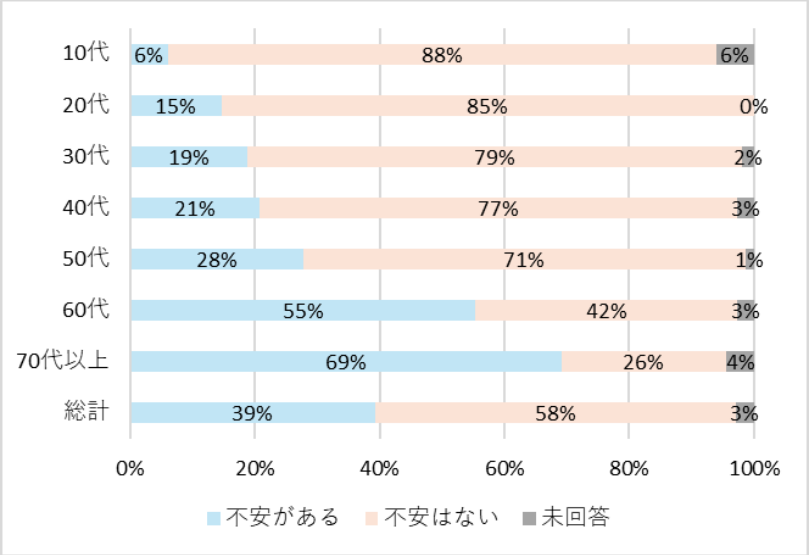
・地区別で不便に感じている理由を見ると、乙、築地、黒川地区では鉄道関係に関する理由が上位を占めている。中条地区の上位は鉄道関係だが、「のれんす号」関係の「利用方法がわからない」が3位に入っている。

・中条地区ではのれんす号の利便性の向上を求める意見がある一方、乙・築地・黒川地区では「移動手段の確保そのもの」が最優先課題となっており、現在の移動は自家用車を前提としていることが読み取れる。

問 9. あなたは 10 年後の日常の外出に不安を感じていますか。



◎年代別で見る 10 年後への不安（問9×問1）

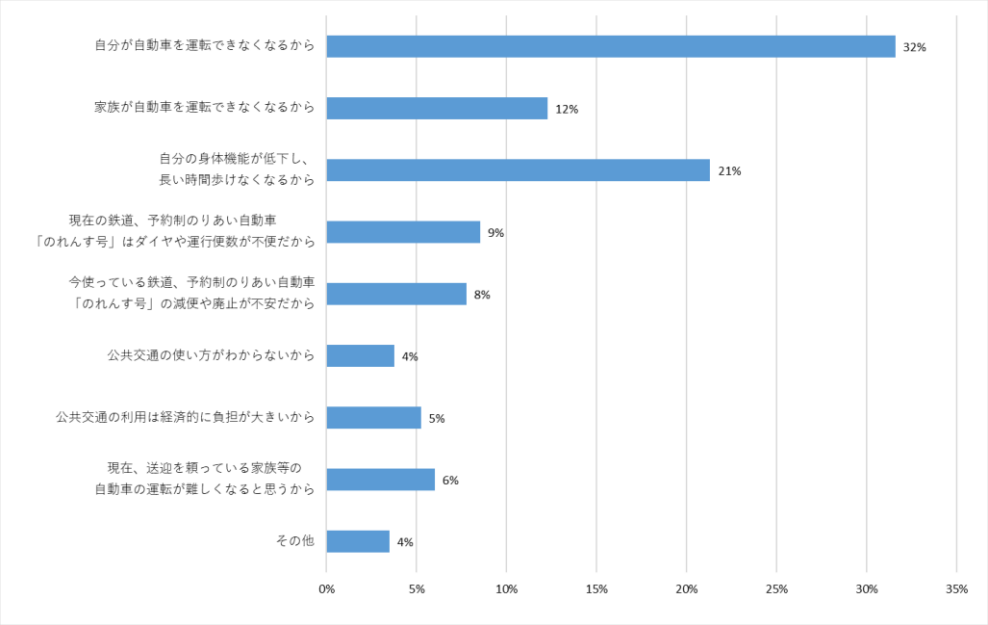


・全体として、現在は自家用車で自由に移動できている層であっても、年代が上がるにつれ不安とする回答が多くなっている。「運転ができなくなる」ことを現実的に捉え始める 60 代から急増している。

・10、20 代は自身の身体的理由から「運転ができなくなる」状況が現実的でないため、楽観的な見方が多い。30 代頃から自分自身のこととしてというよりは親世代の免許返納について、またその後の移動手段について考え始め、将来の不安へとつながっていることが自由記載から読み取ることができた。

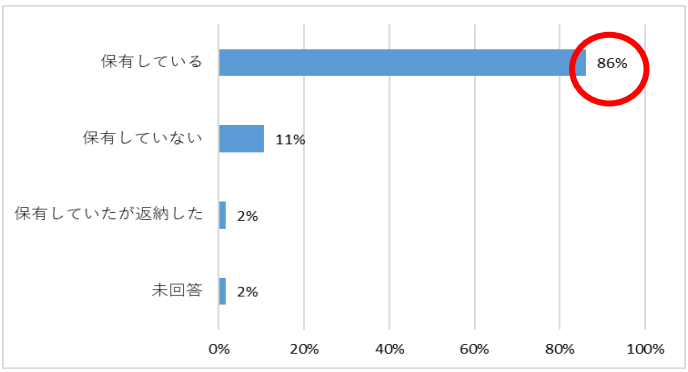
・60 代から将来を不安視する回答が急増し、免許を返納した後の移買い物や通院などの動手段について現実的な課題として捉えていると考えられる。

問 10. 10 年後の日常の外出を不安に思うのはなぜですか。



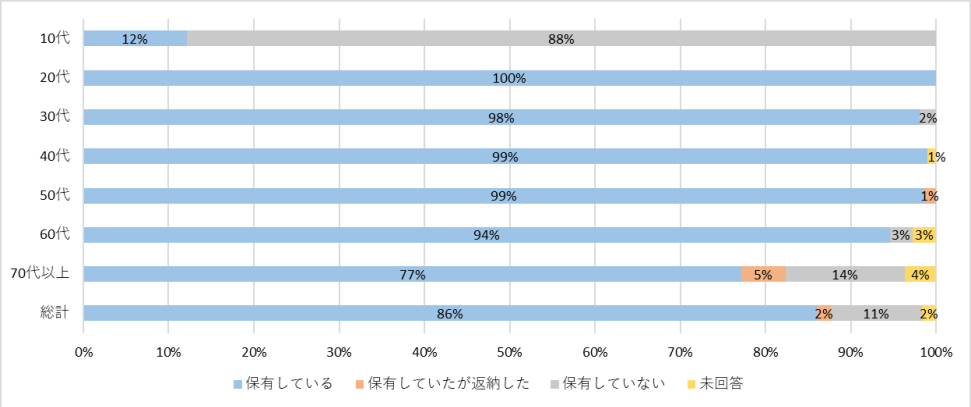
・不安に思う要因として、自分が自動車を運転できなくなるからの割合が一番高く、30%を越えており、車に頼らずには移動が困難になる交通現状を表している。
・それに次いで、「自分の身体機能が低下し、長い時間歩けなくなるから」との回答が多く、運転が困難なることに加え、自身の身体機能の低下により外出そのものへの不安が高いことがうかがえる。
・「現在の鉄道やのれんす号のダイヤが不便」や「将来の減便や廃止が不安」など現在の公共交通の在り方への不安もみられる。

問 11. あなたの自動車運転免許保有状況を教えてください。

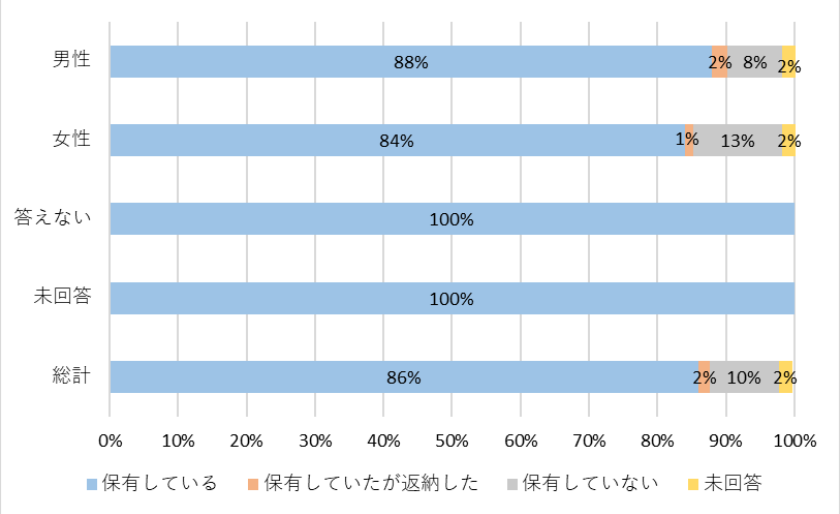


◎年代別の免許保有状況(問11×問1)

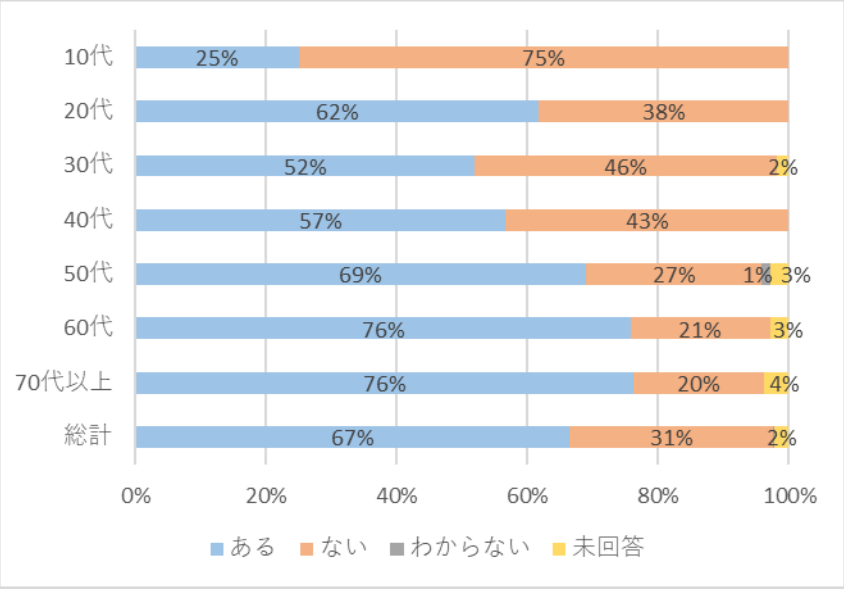
・50代以降から保有していたが返納したや保有していない回答が見られるようになる。70代以上になると約2割が免許を保有していない。



◎性別別の免許保有状況(問 11×問 2)

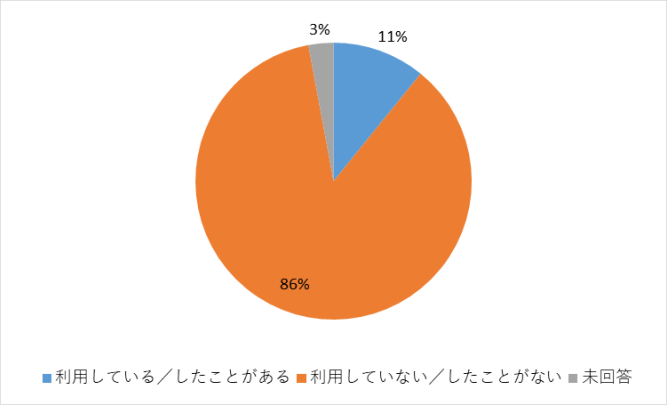


問 12. 将来、免許を返納する意志をお持ちですか。(1つを選択



４ のれんす号について

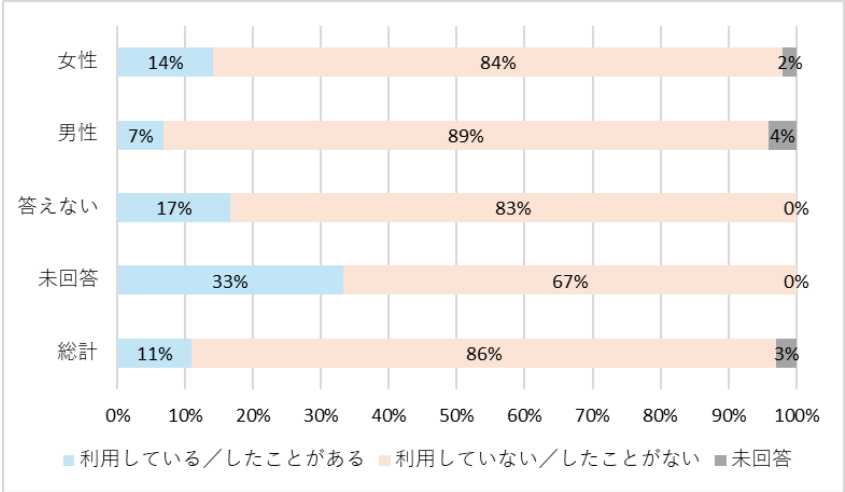
問 13.「のれんす号」を利用したことがありますか。（1つを選択）



◎利用したことがあると回答したのは 11%。令和7年度ののれんす号利用実績の利用率は胎内市人口の約5%であったことから、当アンケート結果も妥当と考える。

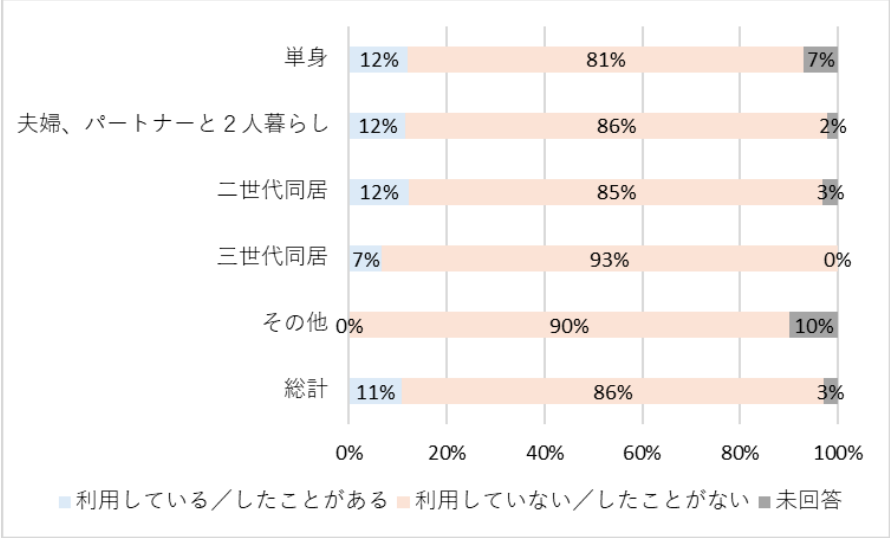
◎性別別ののれんす利用状況（問 13×問2）

・男性と女性とで比較すると女性の利用者が多い。

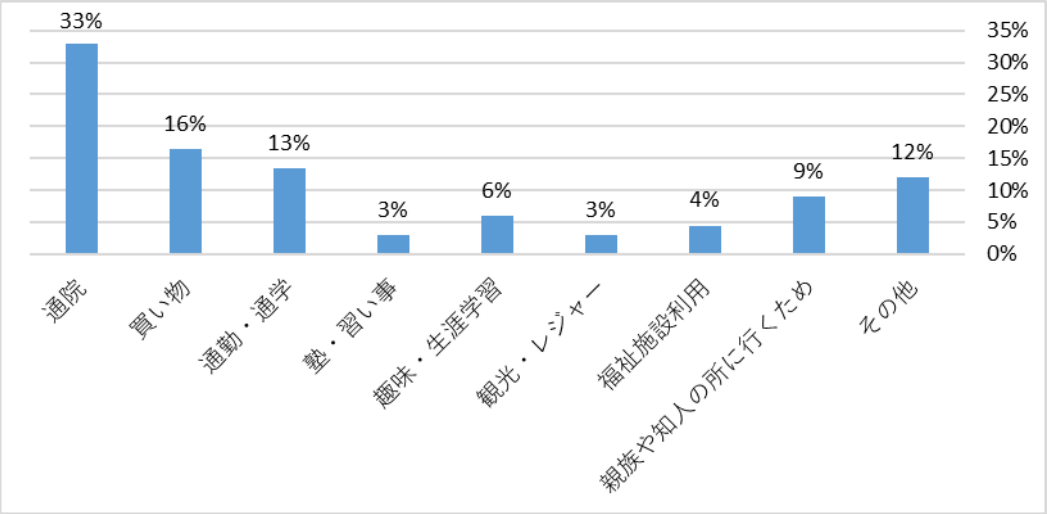


◎世帯別で見たのれんす号利用状況（問 13×問5）

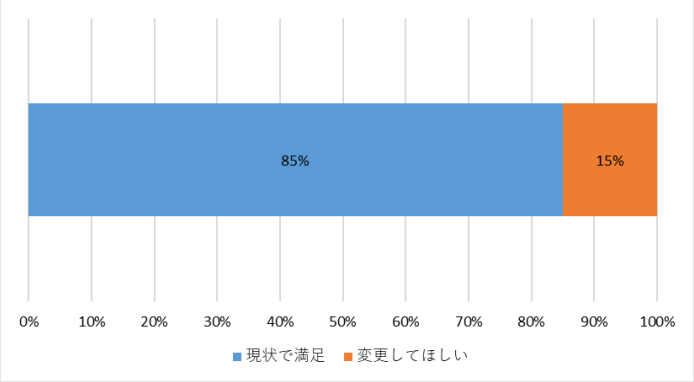
・世帯状況による利用状況の差異は少ない。



問 14.「のれんす号」をどのような目的で利用しましたか。（n＝74）



問 15.のれんす号の時刻表についておたずねします。（n＝40）



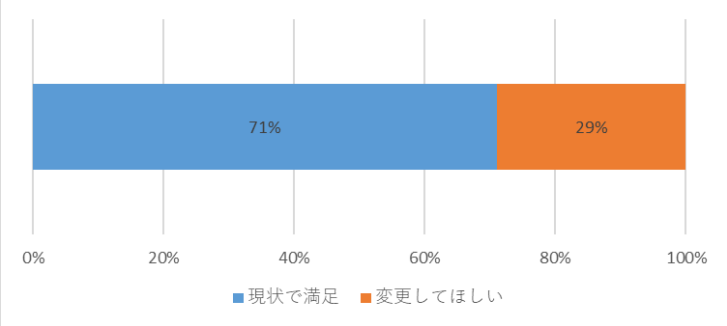
◎変更してほしい内容

・朝の便を早くしてほしい　5件

・夕方の便を遅くしてほしい　8件

・その他　3件

問 16.のれんす号の予約方法についておたずねします。（n＝38）



◎変更してほしい内容

・アプリ、インターネットなどから予約ができるようにしてほしい　15 件

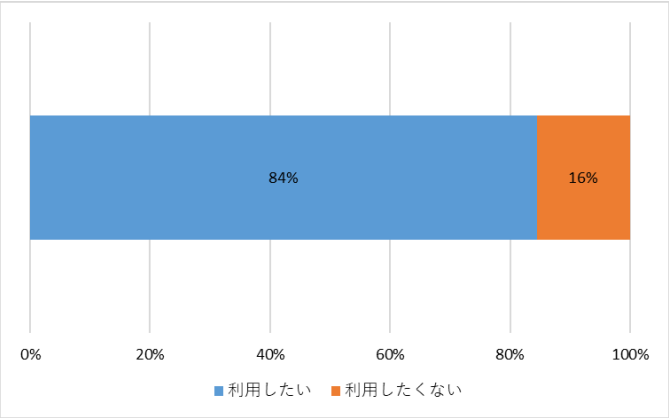
・乗車の 30 分前まで予約ができるようにしてほしい　12 件

・予約受付の開始を早くしてほしい　2件

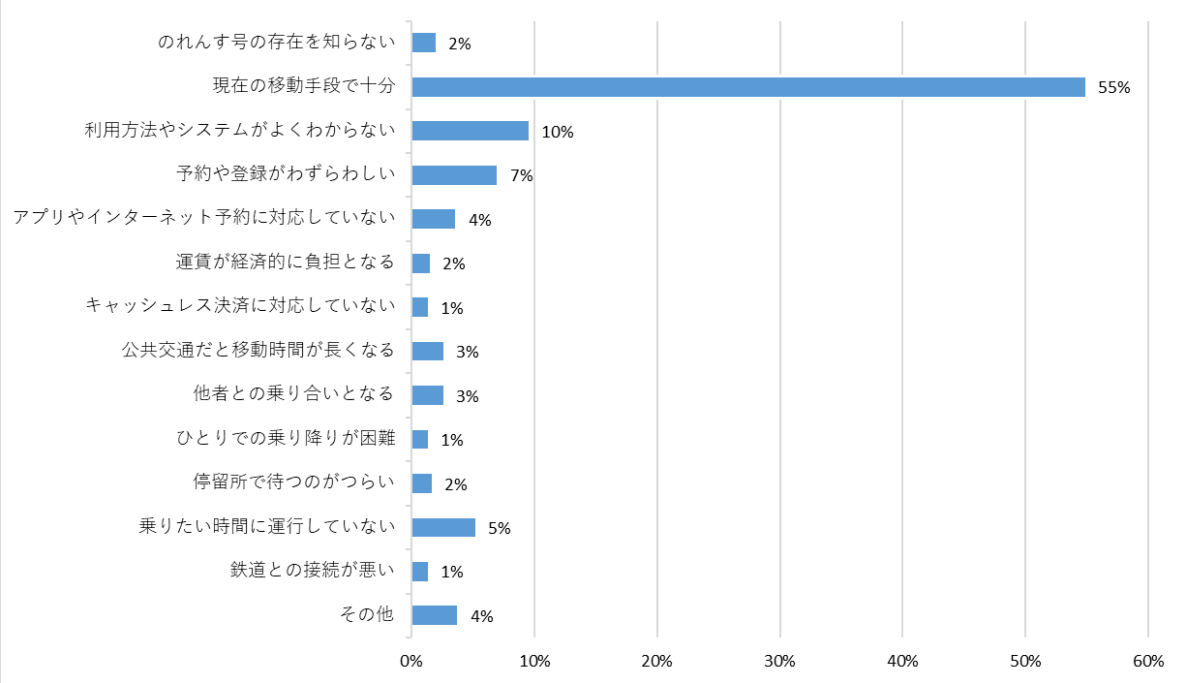
・予約受付の終了を延長してほしい　2件

・その他　6 件

問 17.「のれんす号」を今後も利用したいと思いますか。（n＝45）



問 19.「のれんす号」を利用していない／したことがない理由はどれですか。（n＝642）



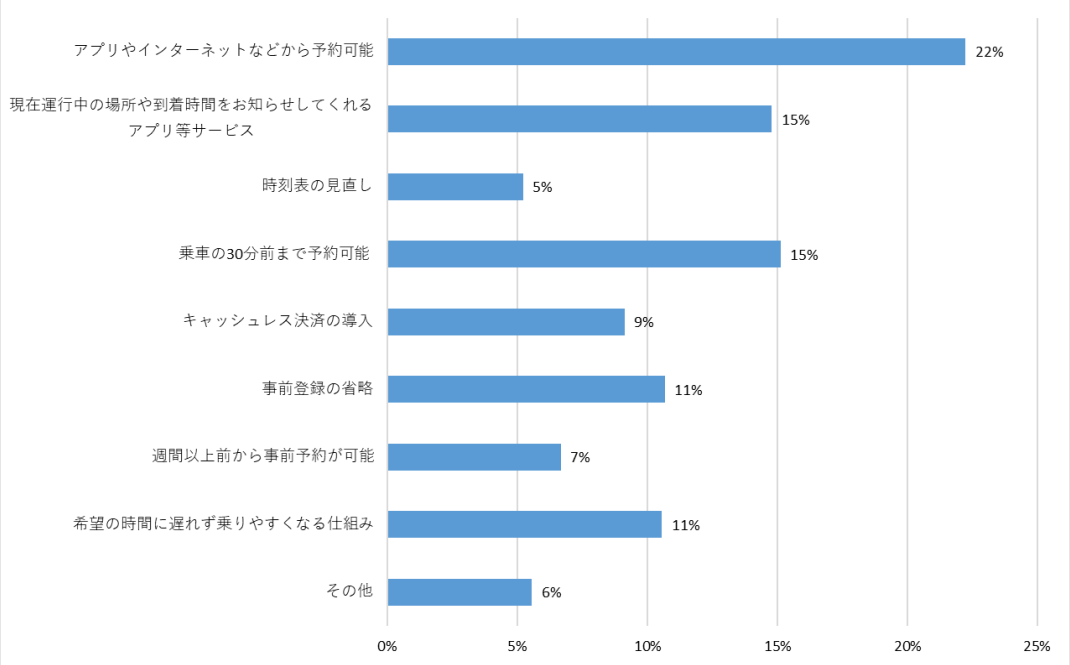
・回答者の 86%が運転免許を保有しているため、自動車の運転による現在の移動手段で 十分と考えていることが読み取れる。

◎年代別で見たのれんす号を利用していない理由(問19×問1)

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
のれんす号の存在を知らない	8%	5%	2%	1%	1%	1%	2%
現在の移動手段で十分	48%	58%	57%	50%	69%	56%	52%
利用方法やシステムがよくわからない	12%	12%	11%	12%	5%	7%	10%
予約や登録がわずらわしい	12%	5%	8%	8%	5%	5%	8%
アプリやインターネット予約に対応していない	0%	2%	6%	7%	4%	3%	2%
運賃が経済的に負担となる	6%	2%	0%	2%	0%	3%	1%
キャッシュレス決済に対応していない	0%	0%	0%	3%	0%	3%	1%
公共交通だと移動時間が長くなる	2%	0%	5%	4%	0%	3%	3%
他者との乗り合いとなる	4%	2%	3%	2%	4%	5%	1%
ひとりでの乗り降りが困難	0%	0%	0%	0%	0%	1%	5%
停留所で待つのがつらい	2%	0%	2%	2%	1%	4%	1%
乗りたい時間に運行していない	2%	12%	2%	5%	4%	6%	7%
鉄道との接続が悪い	2%	2%	2%	2%	0%	2%	1%
その他	2%	0%	5%	2%	7%	4%	5%

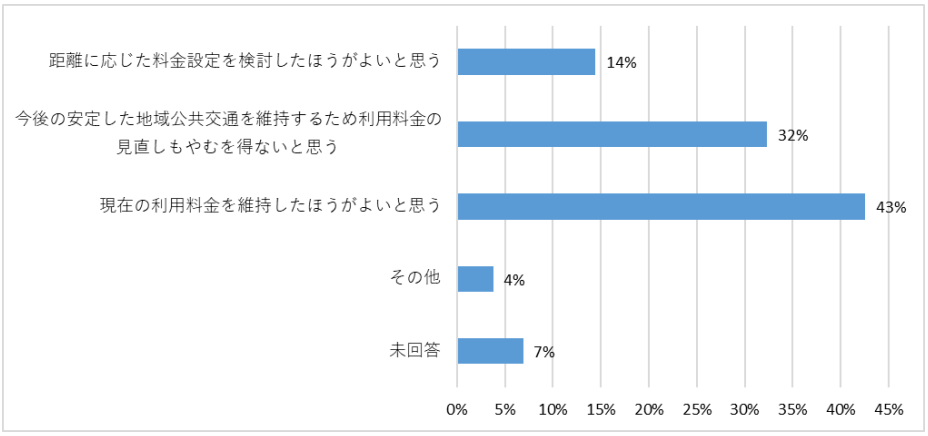
・現在の移動手段で十分どの年代でも割合が高いが、中でも 50 代の約 7 割が現在の移動手段で十分と考えている。
・次いで、利用方法やシステムがよくわからない予約や登録がわずらわしい、乗りたい時間に運行していないが挙げられている。
・10、20 代の利用していない理由としてアプリやキャッシュレス決済に対応していないことへの回答が 0 件であった。この点から、利便性を向上させることよりもシステムそのものへの理解度を向上させる必要があると考える。

問 20. 今後、のれんす号のどのようなサービスを拡充すれば利用したい／利用し続けたいと思いますか。(n＝899)



・上位回答は、アプリやインターネットなどから予約可能(22%)、乗車の 30 分前まで予約可能(15%)、現在運行中の場所や到着時間をお知らせしてくれる(15%)、事前登録の省略(11%)、希望の時間に遅れず乗りやすくなる仕組み(11%)。
・電話予約だけではなくインターネット等からの予約ができること、事前登録の省略、「希望の時間に乗れる」ことにより利便性が向上されることが望まれている。

問21　のれんす号の利用料金についてあなたの考えに一番近いものはどれですか。



・現在の利用料金を維持したほうがよいという意見が4割以上であったものの、今後の地域公共交通の財政状況を踏まえた見直しについても 3 割以上であり、将来を見据えた見直しへの理解がうかがえる。

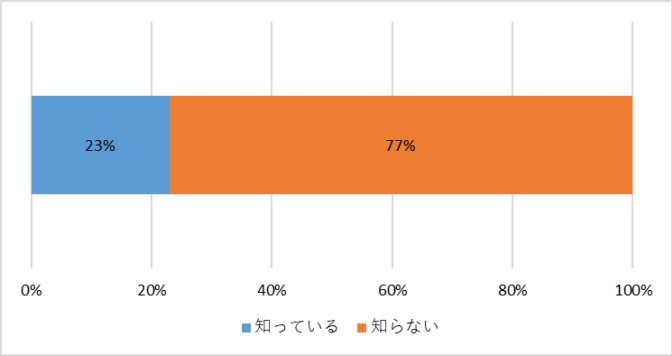
◎年代別で見たのれんす号利用料金（問 21×問 1）

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
距離に応じた料金設定を検討したほうがよいと思う	9%	6%	15%	19%	22%	11%	13%
利用料金の見直しもやむを得ないと思う	39%	32%	49%	27%	36%	34%	24%
現在の利用料金を維持したほうがよいと思う	42%	59%	32%	43%	36%	46%	44%
その他	3%	0%	2%	6%	3%	5%	4%
未回答	6%	3%	2%	4%	3%	4%	15%

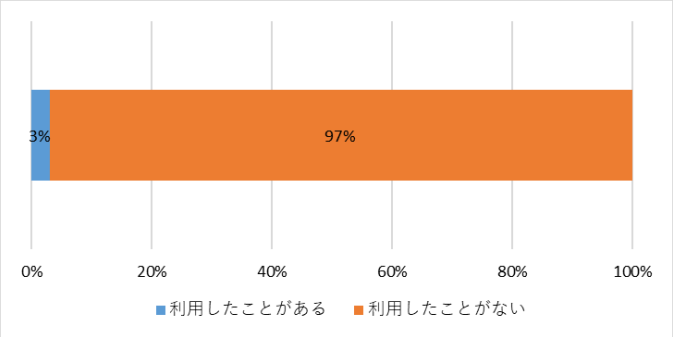
・全体的に現状の維持の回答が多いものの、10 代、30 代などが料金の見直しや距離に応じた料金設定の検討に前向きな回答も高かった。

5　ライドシェアについて

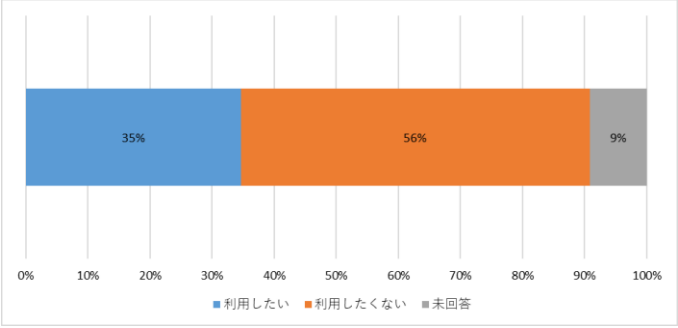
問 22.「胎内版公共ライドシェア」を知っていますか。（n＝462）



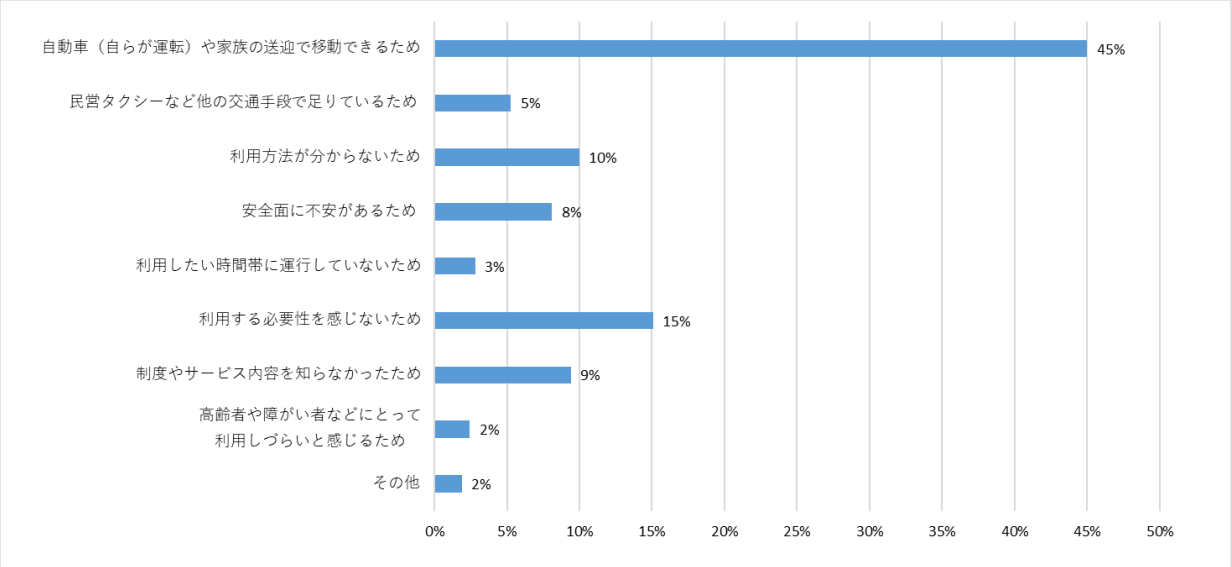
問 23.「胎内版公共ライドシェア」を利用したことがありますか。（n＝101）



問 24. 今後「胎内版公共ライドシェア」を利用したい／利用し続けたいと思いますか。(n=479)



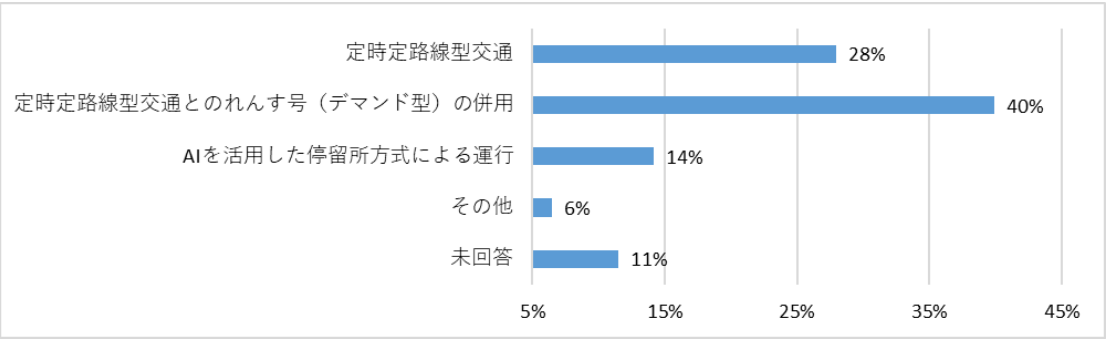
問 25. 利用したことがない」または「利用したくない」理由を教えてください。（n＝531）



◎回答者の中でのライドシェアの認知度は 23%、利用率は3%であったが、今後の利用については 35%が利用を希望と回答した。
◎利用したことがない／したくないの回答では「制度やサービス内容をしらなかったため」の回答が 15%であったことから、周知・広報に力を入れていく。

6　今後の公共交通サービスについて

問 26. 今後どのような公共交通サービスがあれば利用したいと思いますか。



【その他の意見】
・（今は利用することがないので）分からない　7件
・現行のれんす号のみでよい　5件
・特にない　4件
・利用したいと思わない　3件
・デマンド型の利便性向上（予約方法の改善）、福祉施設送迎や学校バス運行の在り方とセットで公共交通の網目を広げることも検討すべき
・半額タクシー
・胎内市から年間利用可能なタクシー券の配布を希望
・身体状況による
・車いすを押してくれる人が介助要員を別料金でもいいので予約できるようにしてほしい。

◎年代別で見た利用したいサービス（問26×問1）

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
①定時定路線型交通	64%	53%	28%	27%	25%	12%	24%
②定時定路線型交通とのれんす号（デマンド型）の併用	6%	29%	30%	38%	47%	58%	42%
③AI を活用した停留所方式による運行	15%	12%	21%	26%	15%	15%	4%
④その他	9%	3%	17%	6%	4%	7%	4%
未回答	6%	3%	4%	3%	8%	8%	26%

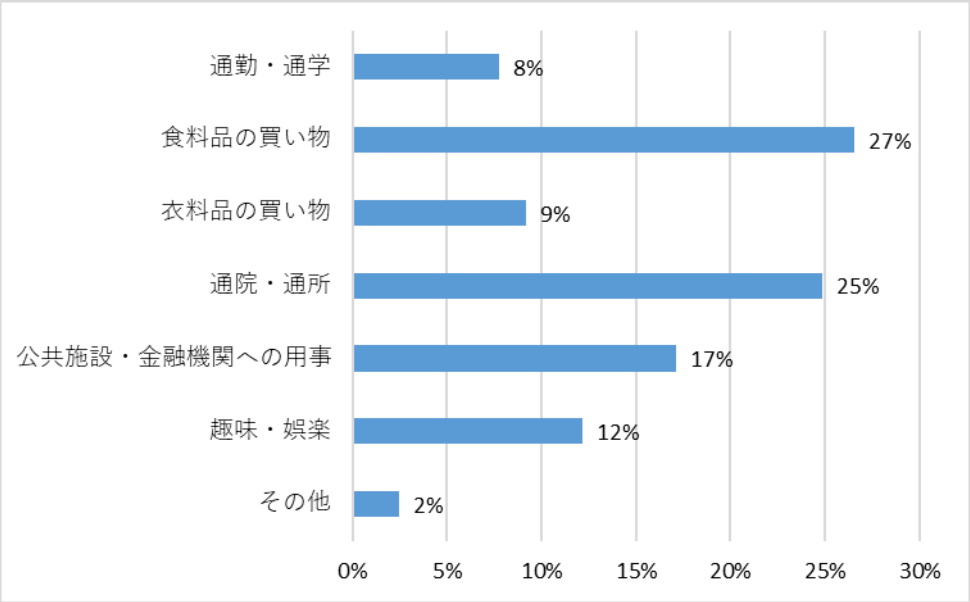
・全体として、「確実に決まった時間に来るサービス」への希望が見られる一方、のれんす号の利用率が高い 70 代以上や免許返納によりいずれ利用するようになると考える 60 代では特に併用型への希望が高く、ドア to ドア型で移動できるのれんす号の需要があることがうかがえる。

◎利用したいサービス別に見た日常の外出を不便に感じる理由（問 26×問8）

	①	②	③	④
鉄道関係[自宅から駅が遠い]	15%	19%	12%	22%
鉄道関係[目的地から駅やバス停が遠い]	9%	9%	3%	11%
鉄道関係[運行本数が少ない]	17%	11%	18%	22%
鉄道関係[運賃が高い]	8%	3%	6%	11%
鉄道関係[目的の時間に運行していない]	12%	6%	6%	0%
鉄道関係[乗り換えがわずらわしい]	1%	1%	6%	0%
鉄道関係[駅などがバリアフリー化されていない]	1%	1%	0%	0%
鉄道関係[時刻表などがわかりづらい]	1%	1%	0%	0%
鉄道関係[荷物が多いため利用が難しい]	1%	2%	3%	0%
鉄道関係[ひとりで乗ることが難しい]	1%	1%	3%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[運行本数が少ない]	2%	4%	3%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[運賃が高い]	1%	1%	0%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[目的の時間に運行していない]	2%	7%	0%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[荷物が多いため利用が難しい]	1%	0%	3%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[時刻表などがわかりづらい]	3%	3%	0%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[電話予約が面倒]	7%	9%	3%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[利用方法がわからない]	4%	4%	12%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[ひとりで乗ることが難しい]	1%	1%	3%	0%
予約制のりあい自動車「のれんす号」関係[目的地に到着する時間が定かでない]	3%	4%	0%	0%
その他[誰かに頼まないと車で移動できない]	3%	3%	9%	11%
その他[運転に不安がある]	3%	3%	0%	0%
その他[介助や杖等が必要で元々お出かけが困難]	1%	1%	0%	11%
その他[タクシー料金が高い]	3%	7%	3%	0%
その他[その他]	1%	1%	6%	11%

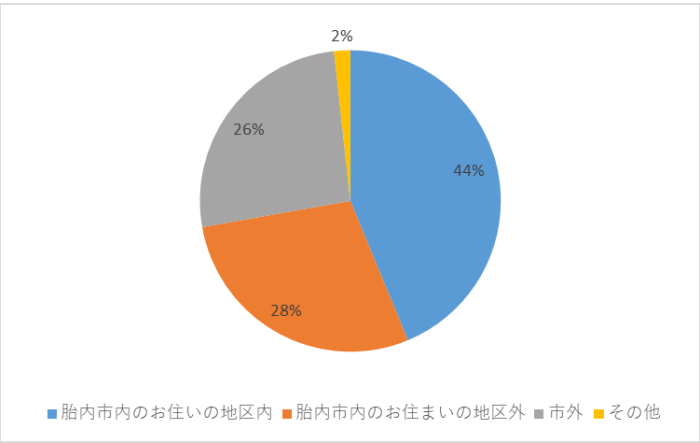
・「定時定路線型」を希望する層では、鉄道関係の運行本数の少なさや目的の時間に運行していないへの回答が多かった。
・のれんす号関係では利用方法が分かりにくいことや電話予約が面倒であることへの回答が多い。
・「定時定路線とのれんす号の併用」を希望する層では、手段や時間帯に応じた使い分けを希望していると考えられる。鉄道の「本数の少なさ」と、のれんす号の「電話予約の面倒さ」や「運用時間の短さ」の両方に不満を感じている。

問 27. 問 26 で回答したサービスをどのような目的で利用したいと思いますか。（n＝905）

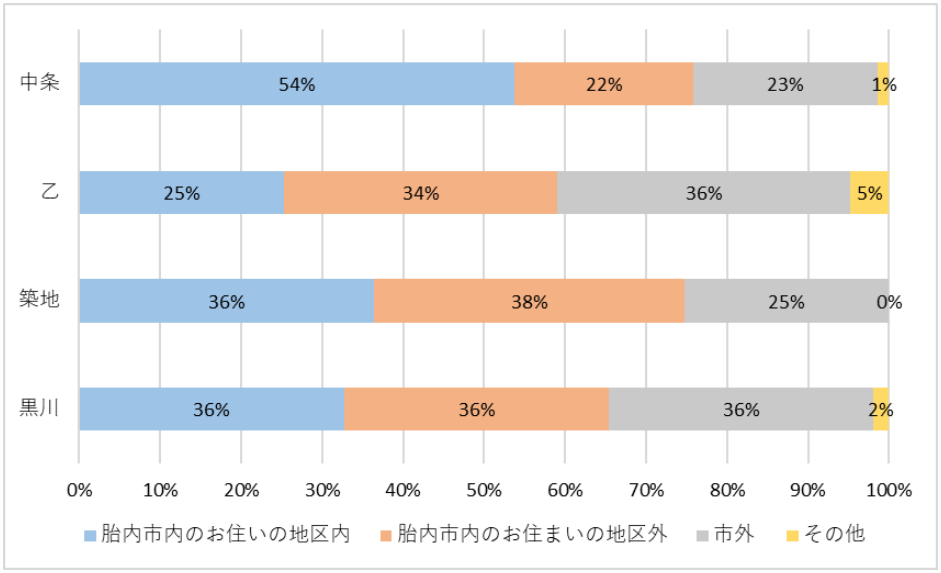


・食料品の買い物が 27%、通院通所が 25%、公共施設・金融機関への用事が 17%となっており、日常の移動として広く利用されることが想定される。
・目的の内容から、商業施設や医療機関が集中する中条地区内で移動できること、自分の地区から中条地区へ移動が重要視されていると読み取れる。

問 28. 問 27 で回答した目的の行き先はどれですか。（n＝576）

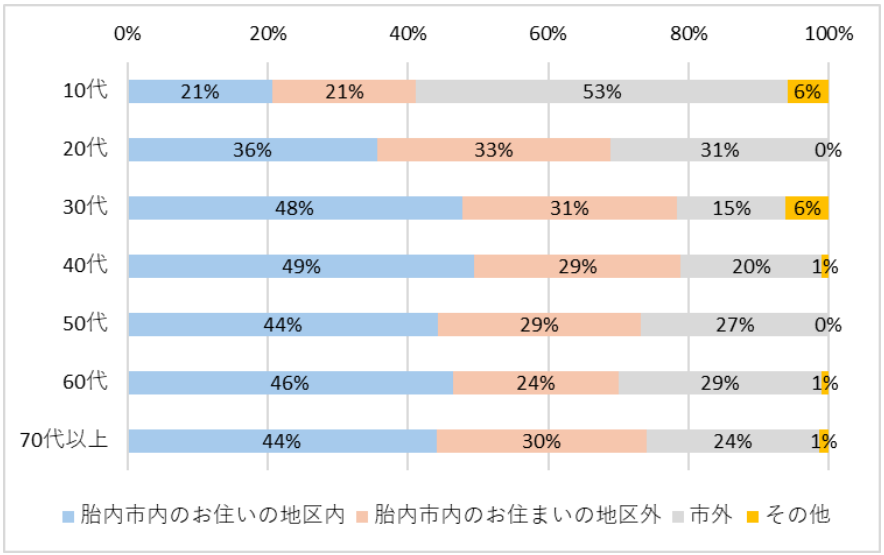


◎住居地区別の目的の行き先（問 28×問4）

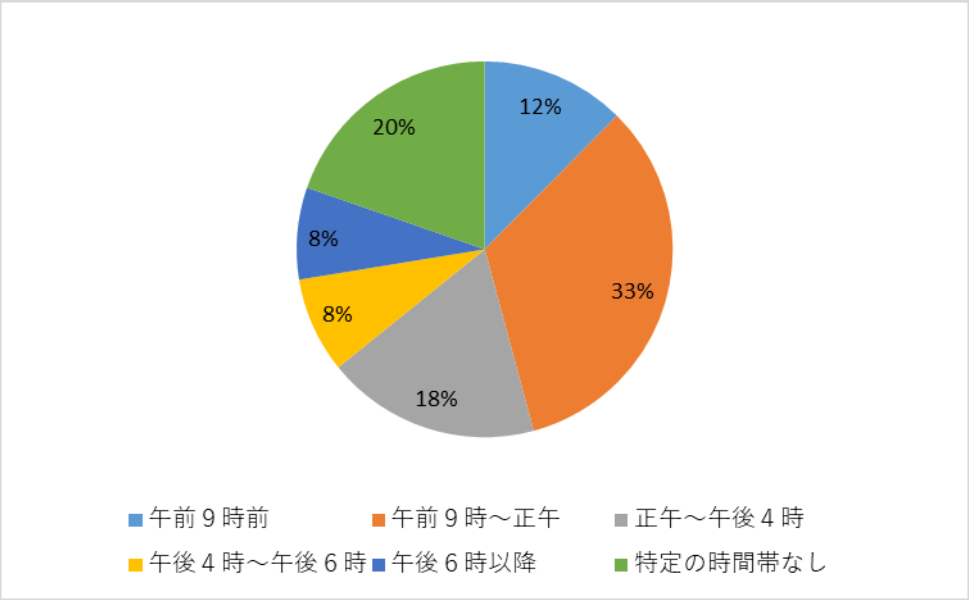


・商業施設や医療機関が集中する中条地区への移動が想定されていたが、乙・築地・黒川地区においては、それぞれ住居地区内での移動も想定されている。
・また、市外への移動も希望があり、特に乙・黒川地区では約４割が市外を希望している。

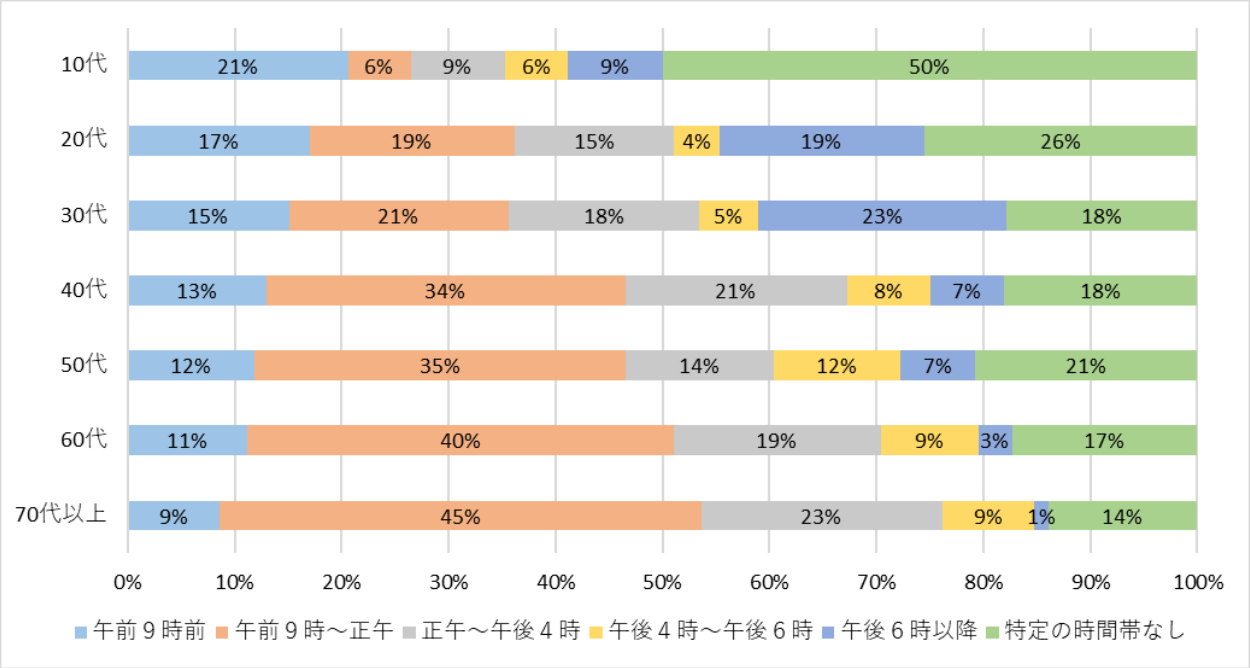
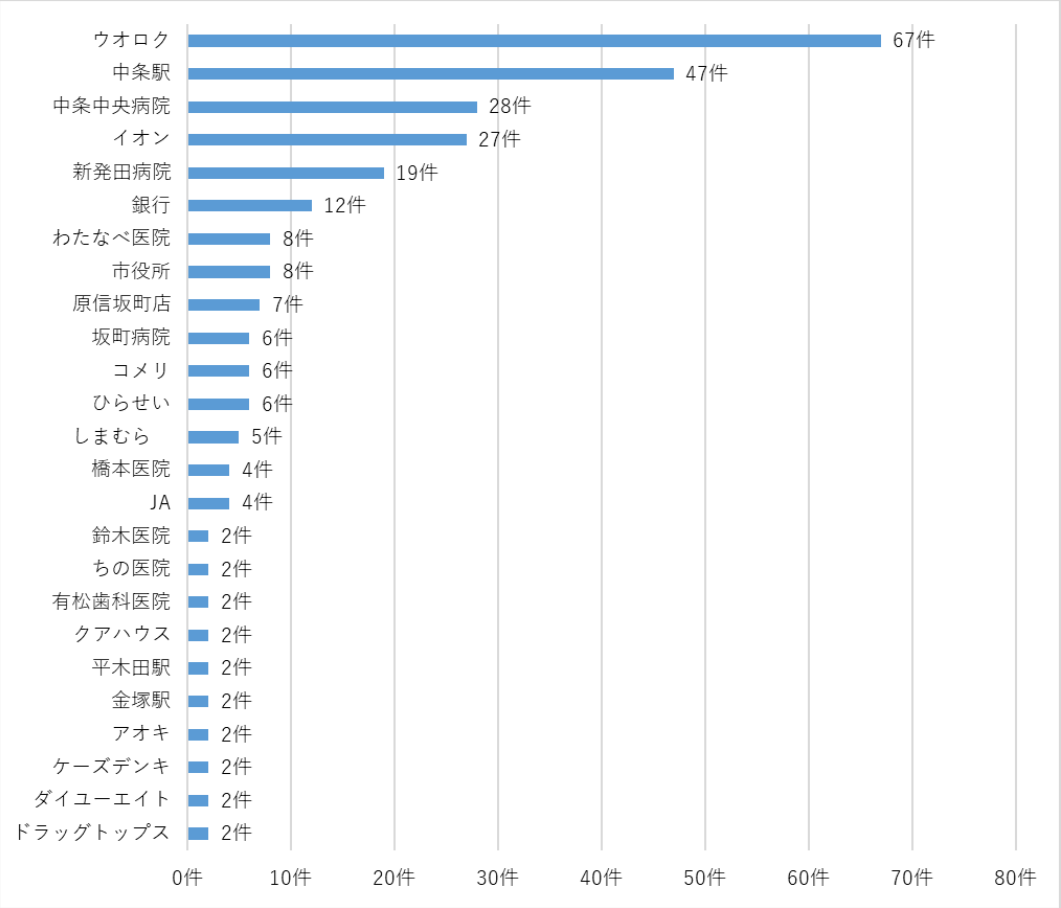
◎年代別でみた目的の行き先（問 28×問 1）



問 29. 問 27 で回答した目的でサービスを利用したい時間帯はいつですか（n＝620）



◎年代別で見た利用したい時間帯



問 30. 差し支えなければ、問 27 で回答した目的の行き先の施設名をご記入ください。
（2 件以上の回答があったものを、回答数の多い順に掲載）